

【関東入厩】

13

プリンセスノーアの23

全40口 | 1口175万円 (総額7,000万円)

田中博康厩舎 予定

●提供 **ノーザンファーム** ●生産 ノーザンファーム ●繋養 ノーザンファームYearling

13

キタサンブラック × プリンセスノーア 「メス」



キタサンブラック 鹿 2012	ブラックタイド 黒鹿 2001	*サンデーサイレンス Halo Wishing Well	
	メス 黒鹿毛 2023.4.27 生	*ウインドインハーヘア Alzao Burgholere	
		シュガーハート 鹿 2005	サクラバクシンオー サクラハゴロモ *ジャッジアンジェルーチ オトメゴコロ *ティズリー
	*プリンセスノーア Princess Noor 黒鹿 2018	ノットディスタイム Not This Time 黒鹿 2014	Giant's Causeway Storm Cat Mariah's Storm Trippi Yada Yada
		シーザスモークショウ Sheza Smoke Show 鹿 2011	Miss Macy Sue Awesome Again Wilko *ネイティブルーツ *エーピージェット Avery Hall Royal Form (7)

FAMILY 母系

母の父 ノット ディス タイム Not This Time は米国産、北米2勝、イロコイS-G3、BCジュヴェナイル-G1 2着。主な産駒：エピセンター(トラヴァーズS-G1)、アップ トゥ ザ マーク(クールモア ターフ マイルS-G1)、ジャストワ
ンタイム(マディソンS-G1)、*プリンセスノーア(デル マー デビュータント
S-G1)、シベリウス(ドバイ ゴールドデン ジャヒーン-G1)

母 *プリンセスノーア Princess Noor (18 Not This Time) 米国産、北
米3勝、デル マー デビュータントS-G1 (D7F)、シャンデリアS-G2
(D8.5F)。本馬は第2仔

祖母 シーザ スモーク ショウ Sheza Smoke Show (11 Wilko) 北米3勝、
セニョリータS-G3、オータム ミスS-G3 4着。産駒
プロトニック パワー Protonic Power (驕 Protonico) 北米5勝、Bossel-
man Pump and Pantry/Gus Fonner S 3着
ムーンライン Moonline (牡 Malibu Moon) 北米4勝

曾祖母 エイヴェリー ホール Avery Hall (02 *エーピージェット) 北米3勝、
Open Mind H, New York Stallion S 2着、Fifth Avenue S 2着、Spruce
Fir H 2着、Girl Powder H 3着。産駒
シルヴァー カレンシー Silver Currency : 北米2勝、Dahlia S 2着

四代母 ロイヤル フォーム Royal Form (94 Dynaformer) 北米4勝、Roam-
in Rachel S, Revidere S 2着、Serena's Song S 2着、Dowry S 2着、
Go for Wand S 3着。産駒
ブルーヴン フォーム Proven Form : 北米4勝

五代母 ロイヤルトルーブ Royal Troupe (86 Akureyri) 北米4勝、North Si-
der S 2着。産駒
クローズ コール Close Call : 北米5勝、John J. Reilly H 3着

六代母 ダンス トルーブ Dance Troupe (77 Native Charger) 北米10勝、
Eatontown H 2着、Twilight Tear H 2着、Violet H 3着、Wall S 3着、
Straight Deal S 3着、モリー ピッチャーH-G2 4着(2回)。産駒

ダンス フロア Dance Floor : 北米4勝、ファウンテン オブ ユースS
-G2、ブリーダーズ フューチュリティ-G2、ケンタッキー ジョッキ
ークラブS-G3、ハリウッド フューチュリティ-G1 2着。種牡馬
シンシー Sinsie : 不出走。トゥー ホーン ユニコーン Two Horn Unicorn
(Fall Classic Distaff H)の祖母

POINT ポイント

群雄割拠の種牡馬戦国時代の中で、ひときわ存在感を示す父から、きらびやかなオーラを身にまとった本馬が募集となりました。しなやかな背中中のラインに、スラリと見せる四肢、各関節は正確に配置され、あらゆるパーツが高水準のものを備えています。良績を残している父産駒の共通項をすべて詰め込んだかのような馬体には、自然と感嘆の声が上がります。中心軸のブレない理想的な走法から生み出される極上の切れ味もまた見る者を魅了し、名実ともにトップホースとなるための素質が備わっているといえるでしょう。目指すは世代の頂であり、世界で羽ばたくことさえも夢ではありません。